



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.677 2023.4.5

日本共産党北区議員団  
〒114-8508 王子本町1-15-22  
ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

## 動き出した駅前再開発 区は2年間で基本計画を策定

# 赤羽のまちはどうなる？



赤羽駅東口に3本のタワーマンションを呼び込む市街地再開発計画、赤羽小や赤羽公園の再編など、今後、赤羽のまちはどうなっていくのでしょうか。(のの山けん)

北区は、今年と来年の2年間で「赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画」を策定するとしています。東口駅前に計画されている3つの市街地再開発計画のうち、La Laガーデンに一番近い「第一地区」は、再来年の10月に解体を始め、2029年6月に再開発ビルが竣工する予定となっています。

また、一番街をはさんで両脇の「第二地区」「第三地区」も再開発準備組合が立ち上がり、都市計画決定に向けた準備が進められています。

### 赤羽小を赤羽公園に移転させる案も

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会では昨年、まちづくり提案策定に向けた検討が進められていますが、その中では「再開発ビルによって教育環境に影響が出る赤羽小学校を、赤羽公園や赤羽会館の位置に移してはどうか」という案も浮上しています。

### 北区も周辺公共施設の更新を検討

一方、北区も基本計画の策定に向け、赤羽小、赤羽公園、赤羽会館などの効果的・効率的な更新を検討。すでに内部検討会も動き出しています。

まちづくり協議会で5月開催を決定

## まちづくり懇談会にぜひ参加を

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は、3月29日の幹事会で、この5月に「まちづくり懇談会」を開催することを確認しました。懇談会は、住民誰もが参加できる協議の場で、私が2019年第4回定例会で開催を提起したものです。ぜひご参加下さい。(のの山けん)



# これだけある！

## 赤羽駅東口周辺

# まちづくりの課題

## タワマン呼び込む開発を優先

北区は十条、赤羽などの駅前に民間企業と一体になってタワーマンションを呼び込む開発計画を推進しています。立ち退きを迫られる住民や店舗、商店街、学校、子どもの施設などへの影響も懸念され、日本共産党区議団が取り組んだ区民アンケートにも、巨額の税金を投入する大型開発優先の姿勢に、疑問の声が多数寄せられています。



日本共産党北区議員団区民アンケートに寄せられた声

## 赤羽小敷地を開発に一体利用？

「第二地区」の再開発準備組合は、北区に対し「より良い教育環境の確保と魅力あるまちづくりのため、同地区と赤羽小学校敷地を一体的にとらえて土地利用を図る検討を求める」旨の要望書を区に提出しました。これが実現すれば1.8ヘクタールにも及ぶ巨大開発用地が生まれ、赤羽小の現地での存続自体も危ぶまれることになります。



## 赤羽公園の存続は？

北区は、現時点で「赤羽公園をなくしたり、面積を縮小したりすることは考えていない」と表明しています。しかし、仮に赤羽小を赤羽公園の位置に移転させると現在の公園はなくなります。そうなれば、「立体都市公園制度」を活用した“空中公園”の新設なども検討されるかもしれません。



立体都市公園制度を活用したMIYASHITA PARK

## 情報の公開と住民合意を

再開発の情報は、地域住民や赤羽小・商店街の関係者などにほとんど伝わっていません。私はこの間、情報の公開を強く求めてきましたが、北区は「赤羽PRESS」を周辺に全戸配布するなど、ようやく情報の提供を始めました。どんなまちをつくるかは住民合意で決めるのが原則です。引き続き、合意の形成を求めていきます。



北区が発行した「赤羽PRESS」